

生物多様性保全推進事業の概要と令和元年度の実績について

環境保全課

1 事業の概要

行政提案型協働事業として、令和元年度から実施。市内の里山や河川などで活動し、生き物に造詣のある市民や市民団体、市内企業などを中心に学識経験者を加えて組織した団体と環境保全課が協力し、令和元年度から3年度までの3年間で、市内の生物の生息状況を調査、分析し、自然環境評価書を作成します。

協働事業終了後の令和4年度には、作成した自然環境評価書を基に、市民の自然環境への愛着を育み、豊かな生物多様性を後世へつなげていくための行動計画（（仮称）生物多様性アクションプラン）を環境保全課で策定します。

2 令和元年度の事業内容

事業の初年度となる令和元年度は、団体による「陸域」調査として、土屋にある「里山をよみがえらせる会体験フィールド」や吉沢地区など、市内七つのエリアの生物調査を行い、結果をまとめました。また、市民へ向けた生物多様性保全の啓発事業として、植物観察会を開いたほか、横浜ゴム平塚製造所主催のイベントへ参加するなどしました。

- ・生物調査：植物、昆虫、魚類・甲殻類、両生・爬虫類、鳥類、哺乳類の6班に分かれ、それぞれリーダー・サブリーダーが中心となり、季節ごとに対象エリアを調査しました。

【対象エリア】①吉沢②土屋霊園周辺③愛宕裏④びわ青少年の家周辺⑤里山をよみがえらせる会体験フィールド⑥高麗山⑦総合公園。調査に要した期間は、延べ1635時間となりました。

- ・啓発事業：【植物観察会】6月29日（土）午前9時30分～11時30分。土屋頭無（かしらなし）地区里山。生物多様性推進協議会の植物班が講師を務め、植物調査を実施しました。参加者は26人。

【ひらつか環境フェア】7月14日（日）～18日（木）。市役所本館多目的スペース。生物多様性推進協議会のパネルを展示しました。

【生物多様性パネルディスカッション in Think Eco ひらつか】11月9日（土）正午～午後1時30分。魚類班リーダーと担当職員がパネリストとして参加。「平塚の水辺のために何ができるか 外来種問題を考える」をテーマに話しました。

3 令和2年度の事業予定

令和2年度は元年度の調査のフォローアップをしつつ、水域調査として相模川や金目川、海岸等の調査を実施しています。